

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書(代表質問)

番号	1	質問者	清風の絆 渕本 稔	平成25年12月10日	
質問事項				質問要旨	答弁を 求める者
1. 木質バイオマス発電及び水力発電等の推進を				(1) 朝来市地域新エネルギービジョン・省エネルギービジョン及び第2次朝来市総合計画に基づき、木質バイオマス発電や中小水力発電はじめ、取り組みを強化しなければなりません。現在の推進状況と今後の見通しについて市長のご所見を伺います。 ① 木質バイオマス発電の取り組み状況と今後の具体的計画。 ② 中小水力発電の取り組み状況と今後の具体的計画。 ③ 民間の取り組みに対する支援体制。 ④ 風力発電、バイオマス発電の取り組み状況。	市長
2. 観光を産業として確立すべし				(1) 竹田城ブームを一過性のものにせず、生野銀山等と連携して観光が産業として成り立つよう、取り組みを進める必要があります。 以下、2点、市長のご所見を伺います。 ① 竹田城の観光と規制の在り方について ② 生野銀山と「銀の馬車道」等の活性化について	市長
タイトル		自然エネルギーによるエコタウン！			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3. 奥銀谷小学校跡地活用の具体策を	(1) 市教育委員会の方針に基づいて、断腸の思いで統合した栃原小学校、奥銀谷小学校でしたが、栃原小学校は解体され、奥銀谷小学校はいまだに有効な跡地利用策が示されていません。栃原小学校解体の苦い思いを教訓とし、奥銀谷小学校跡地は地域住民の要望に応じて有効活用しなければなりません、市長のご所見を伺います。	市 長 教育長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	1	質問者	木 村 圭 介	平成25年12月10日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 朝来市超高速ブロードバンド基盤活用検討に関する提言書を受けて				(1) 光ファイバー化事業の現在の進捗状況はどうですか。 (2) 公共施設等への引き込み工事について。(どこに、どのように) (3) この提言書をどう受け止めていますか。 (4) 防災、健康・福祉、教育とブロードバンド利用についての考え方はどうですか。 (5) 観光分野で、ハード面として Wi-Fi 環境の整備とありますが、どのように考えておられますか。 (6) 防災、健康・福祉、教育について、Skype（スカイプ）の利用を考えているとありますが、基本的な考え方と、どのような利用を考えていますか。 (7) ブロードバンドを強みに企業誘致することなどについて、どのように考えておられますか。	市 長
2. 朝来市独自の教育方針は持てないのか				(1) 朝来市発の授業の手法などできないか。 (2) 朝来市の道徳教育について 朝来市独自の副読本も作成され活用されていると思うが、活用状況と今後の方針について具体的にお伺いします。	教育長
タイトル		朝 来 市 の ブ ロ ー ド バ ン ド 利 活 用 は			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	2	質問者	嵯峨山 博	平成25年12月10日	
質問事項				質問要旨	答弁を 求める者
1. 岩津地域に建設予定の産業廃棄物最終処分場について				(1) 事前手続きに基づく「事業計画事前協議書」が兵庫県当局へ提出されているが、その後の状況について (2) 建設される事による問題について、市長のご所見を伺い致します。 ① 建設による風評被害により朝来市特産である「岩津ネギ」が特産としての価値を失う恐れがある。 ② 建設予定地は円山川の源流であり、汚染物質が流出する可能性がある。このことにより下流地域まで範囲に影響を及ぼすと考え。市当局から業者へ説明範囲の指導がなされると思うが、説明範囲はどの様に考えておられるか。 ③ 業者が倒産した場合、後の施設の維持管理は、誰が、どのように責任を持つのか。 (3) 兵庫県条例の産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争予防と調整に関する条例について 兵庫県の条例と市の関係、現在の状況についてお伺い致します。	市長
タイトル		危機感と緊張感ある産業対策を			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者
	(4) 現在の朝来市の環境維持・向上についてどの様に考えているのか。今後どのような計画を立てているのか。	
2. 本市の農業の振興対策について	(1) 中島前議員は、本年の6月と9月の両本会議で、自民党安倍政権のTPP参加表明を受けて、本市の農業振興対策について、わが国のコメを中心とした従来の土地集約型農業は壊滅的な影響を受けることは明らかで、本市の農業施策のドラスチック（徹底的）な転換が必要であることを強く主張されています。 この指摘を裏づけするかのように、自民党安倍政権は5年後の2018年度を目途に米の生産調整（減反）の廃止を目指し、当面は、2014年度の減反奨励金を現在の1ha当たり15,000円を3分の1の5,000円に引き下げる方向で調整をしています。こうなると一挙にコメの作付面積が増加し、価格が大暴落することが強く懸念されております。 今こそ市は、強い危機感と緊張感を持って、本市農業政策の大転換を図るべきだと考えますが、市長のご所見をお伺いいたします。	市 長
3. 航空機産業への企業参入について	(1) 本市の産業経済部に対して、市内商工業者の中から近畿経済産業局の肝いりによる航空機産業への参入を希望する企業の有無について引き合いが来ていると聞きますが、本市の取り組みはどのようになっていますか、その後の取り組	市 長

質 問 事 項	質 問 要 旨	答 弁 を 求 め る 者
	み状況をお聞かせ下さい。多くの企業が地域から撤退して行く中で、若者の働き場の確保のためには、是非とも積極的な取り組みをするべきと考えますが、市長のご所見をお伺いいたします。	

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	3	質問者	吉 田 俊 平	平成25年12月10日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 竹田城跡について				(1) 現在、竹田城跡石垣修復検討委員会等で検討がなされていると思うが、策定中の保存計画等に盛り込み、年次的に全面的補修をすべきであるとするが。 (2) 全面的補修のためにも、冬期間は入山禁止にすべきとするが。 (3) 竹田城跡の管理区分や所管を再検討し、教育委員会と市長部局の連携を強めるべきとするが。 (4) 史跡保存をしっかりと行いながら、観光利用を図る安全対策をどのように行うのか。	教育長 市 長
2. ひとり親家庭の支援について				(1) 平成25年9月10日に厚生労働省から「ひとり親家庭の支援について」と題した報告書が出されているが、なぜひとり親家庭の支援が必要なのか。 (2) 9月定例会の答弁で、「現状把握は必要である」との認識であったと思うが、今後母子家庭及び寡婦自立促進計画を策定する考えはないか。 (3) ひとり親家庭等の在宅就業支援事業に取り組むべきとするが、こういった事業か。	市 長
タイトル		城 跡 保 存 と ひ と り 親 支 援 に つ い て			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者
	(4) 婚外子の相続格差が最高裁で違憲とされ、政府も民法の一部改正を目指し既に衆議院では修正可決されているが、寡婦控除のみなし適用を各種の行政サービスで行うべきと考えるが、どうか。	
3. 糸井の大カツラの保存について	(1) 11月3日の民放放送で関西の知られざる巨木として「糸井の大カツラ」が第1位になっていたが、マスメディアの露出が増えることで観光客が増加して、木の根を踏むなどして大カツラにダメージを与える可能性がある。将来的な保存のためにも施設の（柵等）整備が必要と考えるが。	教育長 市長

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	4	質問者	森 下 恒 夫	平成25年12月10日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 将来のビジョンと課題解決の決意				(1) 市長が和田山町に奉職後、並川町長から高本町長までの4人の町政を振り返ってどのように評価されていますか。また今後の朝来市政にどう生かしていけますか、後世に何を残しますか、ビジョンをお聞かせください。 (2) 今後の朝来市政にとって人口問題は大きな課題であると私も認識していますが、市長はこの課題解決に向けて一番重要なこと、最優先に取り組むべきことは何だとお考えですか。	市 長
2. 今、教育に必要なことは				(1) 私は選挙で、「十把一からげの教育」から、「十人十色の教育」へ転換し、学力、人間力を高める教育をと訴えてきましたが、教育長のご所見をお伺いします。 (2) 人間力とはどんな力とお考えですか、またその力をつけるためにどんな教育方法が有効とお考えですか。 (3) 今、教育に一番必要なことは何かとお考えか、理想とする教育はどんな教育ですか。	教育長
タ イ ト ル		朝 来 市 の 今 後 は い か に あ る べ き か			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	5	質問者	岡 田 和 之	平成25年12月11日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1．経済振興について				(1) 朝来市経済成長戦略の策定作業について 現在、朝来市経済成長戦略策定事業が進められているが、これまでの調査で明らかになった市内経済、産業の課題、問題点についてお尋ねします。また、経済成長戦略の策定は具体的にどこまで進んでいるのか。 (2) 地域経済振興条例について これからの経済振興においては、地域経済で大きな部分を占め、地域に密着し、地域に雇用と所得を生み出す中小零細企業を元気に育成していくことが大切だと考えます。中小企業憲章の精神を生かし、地域の実態にあった朝来市独自の地域経済振興条例が必要だと考えますが、市長のお考えをお尋ねします。 (3) 住宅リフォーム支援制度の継続について 二年間にわたり実施してきた制度の効果と評価についてお尋ねします。制度の継続が必要と考えますが、市長のお考えをお尋ねします。	市 長
2．生活保護制度について				(1) 生活保護を申請した人の親族に対して自治体が、親族の援助が保護受給の要件であるかのように書いた書類を送りつけ、申請をしめ出している事例があるが、市はどのような対応をしているのか。	市 長
タイトル		地 域 内 再 投 資 力 を 高 め る 条 例 を			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	6	質問者	鈴木逸朗	平成25年12月11日	
質問事項				質問要旨	答弁を求める者
1. 農政の見直し、だれもが不安				(1) 「米の生産調整」(減反) 政策をやめ、米の需給と価格を市場に委ねることでのような影響が考えられるのか。 (2) 朝来市の農業に何が求められていると考えるか。	市長
2. 猛スピードですすむ介護保険制度の見直しがもたらす影響を考える				(1) サービス削減の影響を考える。 (2) 費用負担強化の影響を考える。 (3) 介護難民を増やさないために、次期介護保険制度の改善に求められていることは何か。	市長
タイトル		介護難民を増やさないために			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	7	質問者	太 田 則 之	平成25年12月11日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 朝来市観光（特に竹田城関連）について				(1) 竹田城の観光の現状と取組、課題等を問う。 (2) 朝来市観光基本計画(案)が示された。市長の評価は。(街中への誘導の確認) (3) 朝来市観光基本計画の下で、地域ごとに具体的な計画が必要だと考えるが、見解を問う。 (4) 林道城山線の歩車分離は不可欠。そのあり方の結論を問う。 (5) 公共交通での来訪に向けた方策を検討するとともに、JR や全但バス等に対して要望すべし。 (6) 雇用創出を始め、経済波及効果としては、飲食・土産・宿泊消費が欠かせない。そのためには、空き家等の活用希望者の相談・サポート窓口、所有者との橋渡しなどの役割を担う組織や、観光のまちづくりの推進体制の構築が必要だ。 (7) 特に経済波及効果としては宿泊増が有効。温泉があれば、空き家を宿に改修しやすいのではと考える。温泉の採掘について検討される考えはないか。 (8) 竹田城跡の観覧料と徴収時間・期間の見直しが必要では。 (9) 竹田まちなか駐車場から JR 竹田駅前付近までの安全な街歩きの検討も急務。一定の車両規制等考えられないか。	市 長
タイトル		これからが正念場 “ 朝 来 市 観 光 ”			

質 問 事 項	質 問 要 旨	答弁を 求める者
	(10) 城跡内の歩行についての検討状況を問う。 (11) 「竹田城跡の次は夜久野高原だ」(夜久野高原の富良野化) という声があるが、市長の見解を問う。	

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	8	質問者	日 下 茂	平成25年12月11日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 色覚検査について				(1) 色覚検査中止から10年、多種多様な問題や弊害も発生しているが見解は。 市職員採用に影響はないか。任意検査を朝来市はどうする。	教育長 市 長
2. パソコン更新計画について				(1) ウイルス対策は現更新計画で大丈夫か。前倒しの考えは。	市 長
3. 竹田城関連				(1) 観光客の安全誘導は。 (2) 業務上の責任の範囲は。 (3) たけだ城下町交流館は起爆剤となりうるのか、それとも荷物となるのか。 城下町の活性化に何が必要か。 起爆剤とするには、追加関連整備等として何が必要か。	市 長
タイトル		パソコンのウイルス感染対策は			

第2回朝来市議会定例会一般質問通告書

番号	9	質問者	丸 尾 行 子	平成25年12月11日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1. 選挙速報について				(1) 朝来市議会議員選挙の投票率の低下について、委員長のお考えを伺いたい。 (2) 朝来市議会議員選挙の開票状況について	選挙管理 委員会 委員長
2. 周産期医療体制について				(1) 25年度施政方針において「但馬こうのとり周産期医療センター」の事業実施と「市内での助産師による出産についても引き続き研究します」と明記されております。研究の進捗状況をお尋ねします。	市 長
タ イ ト ル		選 挙 速 報 と 周 産 期 医 療 体 制 に つ い て			